

2010年度春季東関東支部大会 大会要綱

「フェアプレーで栄冠を！」

平成22年2月7日

関東大会選考方法	支部40チームのトーナメントよりベスト8、敗者戦より4チーム、支部長推薦1チームの計13チームが春季関東大会に出場する(通常は9チーム)						
出場資格	東関東支部千葉ブロック27チーム、茨城ブロック13チームに所属する登録選手						
日程 試合開始時刻	予定日:2月14日(日)、21日(日)、28日(日)、3月14日(日)、20日(土)、21日(日)6日間 第一試合10:00~ 第二試合12:00~ 予備日:2月20日(土)、27日(土)、3月6日(土)、7日(日)午後、13日(土)、22日(月) (1日3試合のときは第一試合9:00~11、13時)						
審判員	千葉ブロック・茨城ブロック共:派遣審判員1名、帯同審判員1名						
試合	関東連盟大会規則により、時間制限なく延長戦は14回迄行う。勝敗が決まらない場合は再試合を行うが、日程の都合によってはくじ引きとなることもある。 決勝戦を含め全試合コールドゲームは4回10点、5回以降7点差とする(関東連盟大会規則と違う)。 敗者戦も含めて、当初組み合わせ表の若番チームが1塁側ベンチに入る。						
荒天時の対応	天候不良の場合でも第1試合のチームは、グラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合のこと。 グラウンド責任者は、天気予報、グラウンド状態を勘案し三木競技委員と協議の上、中止又は待機を決定し2試合目チームに連絡する。 種々の都合により試合時間・グラウンド・審判員の配置等を変更することがある。						
表彰	優勝・準優勝・第3位・第4位						
大会競技委員 (敬称略)	【東関東支部】 千葉 正弘(支部長) 松吉 仁郎(支部競技部長) 渡辺 敏一(支部審判長) 【千葉ブロック】(本支部大会主管) 大友 博(事務局長) 千葉ブロック内勝敗、次週予定メール連絡 三木 慶造(競技部) 組み合わせ、グラウンド日程調整、勝敗集計 柴崎定男(ブロック審判長) 審判員手配 【茨城ブロック】 土子 寿子(ブロック長) 茨城ブロック内連絡責任者 小松崎 政次(事務局長) 同補佐						
グラウンド提供チーム	千葉ブロック			公営グラウンド			
	チーム名	責任者	携帯番号	松戸市営	大黒事務局長	2/14 雨天のとき2/21	
	佐倉	高橋事務局長		大多喜町営	千葉市脇坂次長	2/28	
	柏	酒井事務局長		神栖市営	伊豆事務局長	2/14、21	
	千葉北	山本事務局長		市原臨海	中工事務局長	2/14、21	
	成田	秋山事務局長		四街道	岡田事務局長	2/21、28	
	富里	滝川事務局長		茨城ブロック		グラウンド提供チームにやっていただくこと ・グラウンド使用料、審判・役員弁当代の領収書発行 ・審判及び役員の弁当代手配(500円程度) ・試合用ロージンバック(無償抛出) ・責任審判または責任者は、試合結果を各試合終了後三木競技委員まで連絡する ・責任審判は東中への報告書を、当日中に東中瀬川記者にFAXする(別途用紙配布) ・グラウンド地図を用意し、必要なチームにFAXなどで送付する。(電話は夜10時まで)	
	銚子	伊豆事務局長		チーム名	責任者		携帯番号
	船橋	谷原事務局長		大野	田島事務局長		
	九十九	中島事務局長		つくば	渡辺事務局長		
	茂原	松崎事務局長		友部	小松崎副会長		
	君津	和田事務局長					
グラウンド使用料 審判役員弁当代等	グラウンド使用料:各チームは、当日朝グラウンド使用料として1試合当たり1,000円を提供チームに支払う。 試合球 :各チームは、試合用公認球を試合開始前メンバー表交換時に2球、試合中不足分はその都度抛出する。 試合終了後、試合球はグラウンド提供チームのものとする。 ロージン :試合で使用するロージンバックは、グラウンド提供チームが用意する。 審判弁当代 :各チームは派遣審判の分と合わせ2名分1,200円の弁当代を提供チームに支払う。提供チームは500円程度の弁当代を用意する。 役員弁当代 :試合会場の役員弁当代は、同様にグラウンド提供チームが用意するが、各役員が600円を立替払いし、後日各所属ブロックに請求する。						